

幼保連携型認定こども園 月津こども園

こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質向上に努めて参ります。

A: たいへんよい
B: よい
C: 一部検討を要する
D: 改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか		○			<ul style="list-style-type: none"> ・利用者には、玄関の掲示板、園だより、ホームページに理念、基本方針を明記していますが、周知には至っていません。理念や基本方針に基づいた教育保育が利用者に伝わるよう、玄関掲示を工夫したり、園だより、クラスだよりで具体的にお知らせしたりしていくことが課題です。来年度は基本方針3つのゼンにこだわり、どのような活動においても3つのゼンをもとにねらいをもって教育・保育を進めていきたいと考えています。 ・一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育についてはチェックリストの項目を通して職員で話し合いを持ち、共通理解を図りました。
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか			○		
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか		○			
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性などを考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○			<ul style="list-style-type: none"> ・園の教育保育目標をもとに全体的な計画、指導計画を作成し、入園から修了までの発達と学びの連続性を捉えて教育・保育が展開されるようにしています。計画実施においては、行事毎に教育・保育の内容について評価反省し見直しを行っています。今後も、子どもたちの最善の利益を考慮しつつ、改善に努めていきます。 ・行事については、子どもの育ちにとって必要なものであるか、地域交流が図られているかなどを含め、実施時期や実施年齢の検討、活動の内容等の見直しを行っています。
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3) 子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか		○			
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか		○			<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの子どもの健康状態を職員間で細かく情報を共有しています。また、他のクラスの感染症等の情報も朝礼、職員会議等にて報告を行い、共有するよう努めています。 ・子ども一人一人の気持ちを受け止め、保育教諭主導の一方的な教育・保育ではなく園児一人一人が主体性を発揮できるように、園児の立場に立って教育・保育を進めていきます。 ・遊びの中に学びがあることを踏まえ、子どもの興味・関心「やりたい」という気持ちを尊重していきます。 ・様々な食に関する体験をしてきました。祖父母の方や地域の方からご協力をいただき、さつまいもの苗植えや芋ほりをしたり 年長組のお味見当番や季節の食材の展示、栄養士から話を聞いたりして、食べることの楽しみや食材への興味・関心、作ってくれた人への感謝の気持ちを大切にできました。また、地産地消を心掛け、地元食材を積極的に取り入れ提供するよう心がけました。 ・配慮を必要とする園児に対しては関係機関との連携を図り、園児一人一人の特性に応じて、発達を全体的に促していくことを心がけました。障がいのある園児が、安心して生活できるような環境の工夫、配慮がまだ不十分なので、園児一人一人に対するきめ細やかな指導や支援への取り組みが課題です。 ・小学校との連携においては、教育・保育の参観や、小学校見学、一年生の授業見学、一年生との交流会、学童クラブとの交流、小学校教師との連絡会等を通して、小学校との円滑な接続を図るよう努めました。今後も園児と小学生の交流の取り組みを積極的に設け、小学校との連携を図っていきます。
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか		○			
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか		○			
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○			
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか			○		
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			
	(9) 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか		○			
	(10) 保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			
	(11) 障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか			○		
	(12) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されているか		○			

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
保護者に対する支援	(1)子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか		○			<p>・年齢別の保育参加と同時に懇談会を設け、保護者同士が子育てについて情報を交換し交流を図ることで、保護者同士の相互理解を深められるようにしています。クラス懇談会の他、話し合いの場を設けることが必要な場合は個別に対応するよう配慮し、保護者との信頼関係を築いています。また、日々の子どもの様子を行事毎にホームページを更新したり、玄関モニターでお知らせしたりしています。</p> <p>・子育て支援室は週3日開催しており、園児や子育て家庭との交流、講演会、離乳食・幼児食の提供や看護師・栄養士による育児相談等を設け、情報の提供を行っています。地域のニーズを把握しさらなる取り組みの工夫をしていきます。</p>
	(2)虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
	(3)地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか		○			
教育保育を支える組織的基盤	(1)感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか	○				<p>・感染症予防のための玩具や施設内の消毒、看護師による保健指導等、感染拡大を最小限に食い止める努力をしています。感染症が発生した場合は、メールや玄関モニター、掲示板で速やかに保護者に情報発信を行っています。</p>
	(2)体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	○				<p>・アレルギー疾患児には、保護者、担任、看護師、栄養士が定期的に面談を行い、半年毎に医師の指示書を提出してもらって対応しています。</p>
	(3)避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか		○			<p>・毎月、様々な災害を想定して避難訓練を実施し、避難訓練時には避難用ズックやスリッパを使用し二次避難に努めています。今後も、訓練後の評価反省を活かして取り組んでいきます。</p>
	(4)地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか		○			
	(5)施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努めているか		○			
	(6)研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			<p>・職員研修計画に応じて研修を受講し、職員一人一人の専門性と質の向上に努めています。また、園内研修で教育保育の充実について話し合いを持っています。</p>
	(7)事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8)事業計画が利用者に周知されているか			○		<p>・事業計画は、大和善隣館のホームページに掲載されているが、利用者の方への周知が不十分なので、方法を検討していきます。</p>
	(9)守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか		○			
	(10)個人情報適切に取り扱いつともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか		○			<p>・園児や保護者の権利を守り、安心して預けていただくためにも保護者の意見や苦情に対応する体制が整っています。第三者委員会等法令に沿った方法で円滑円満に解決できるよう努めています。要望、苦情等に関する相談窓口については、重要事項説明書、ホームページに明記、玄関に掲示しています。</p>
	(11)苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			
	(12)保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13)保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			<p>・年3回の自己評価、キャリアパス評価を行うことで、職員自身の振り返りを行うとともに課題を明確にしています。園の課題について職員で話し合いをし、共通理解をすることで教育保育の改善を図っています。今後も教育保育の質の向上に努めていきます。</p>
	(14)評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			
施設関係者評価						
<p>・感染症やアレルギーの子ども達にとっても適切に対応している姿が見られます。</p> <p>・発表会のあと感想を伝えましたが、とってもあたたかく子ども達の個性が出ている内容でした。 (祖父母の方もほっこりしていましたよ)</p> <p>・活動の中に3つのゼンのねらいがどう、あらわされているのか保護者や地域に知らせることは、教育保育を知ることでわかりやすいので期待したい。</p> <p>・子どもの玩具や環境等では、こうしたこんなことで困った(子どもにとって困ったこと、職員にとって困ったこと)、興味を示さなかった事など、人や物の刺激や、場所・音・光などで変化することもあり、文章もよいが一覧にして行なってみてもよいのではないかと。</p>						